



校長 佐々木 希久子

今年もよろしくお祈りします。

2025年が明け、3学期が始まっています。本年もよろしくお祈りします。

今年の干支は「巳」です。十干十二支でいえば、「乙巳（きのとみ）」の年です。乙（きのと）は、日陰でも静かに成長し、広がっていく草花という意味があります。乙（きのと）は、十干のうちの一つですが、五行のうちの木と、陰陽の陰の組み合わせで表されます。十二支のほうの巳ですが、巳年にはどのような意味があるのでしょうか。巳は蛇です。「脱皮をする蛇」のイメージから巳年は「復活と再生」を意味すると言われています。

植物に種子ができれば始める時期として、次の生命が誕生する時期にも例えられ、新しいことが始まる年になると言われています。また、「巳」を「実」にかけて「実を結ぶ」年とも言われているようです。

中学生の皆さんには今の自分から脱皮してよりよい自分になれるよう、トライしてほしいと思います。



勉強する。そしてトライする。

新しい年は何かいいことありそうな、ウキウキした気分になるものです。いろいろなことがやれそうな、そんな感じです。学校も3学期が始まって一週間が経ちました。各自、今年目標を立てたかと思えます。港南中生には、「トライする」ことを目標達成のために意識してほしいと考えています。



十代は特に勉強する年代です。

勉強は十代に限らず、誰もが一生涯続けていくものです。が、十代の時期は学校に通う年代であることから、人生の基盤づくりのために多くのことを勉強する必要があると思います。

勉強と言われると、英単語や数学の公式、社会の年号や地域名、古語の意味などをついつい思い浮かべてしまいます。もちろんこれらも大切ですが、学校で勉強することはこれらのみではありません。上に挙げたものは個人の努力で何とかなるものですが、学校で勉強することには他者と一緒だからこそできるものが多くあります。すれ違った人に挨拶をすること。他者に分け隔てなく親切にしてあげること。周りの人の考えや安全を尊重してあげること。一緒に活動しながら互いに技能を向上させていくこと。言葉遣いを丁寧にすること。礼儀正しい立ち居振る舞いを身に付けること。自分のわがままを我慢すること。これも勉強なの？と思う人もいるでしょうが、これも勉強です。個人一人ではなかなか進んでいかない、生きていく上で必要な、大切な勉強なのです。十代でしっかりとこれらを勉強した人は、大人になっても身に付いていて、それが他の人に好かれたり、頼られたりすることにつながっていきます。わたしたちは、個人の努力と他者と共に努力することの二種類の努力を経て成長していくのです。

そして、もう何年も勉強してきている皆さんは、こんな思いも抱くのではないのでしょうか。

「どれもこれもそう簡単にできたら苦労しない。英単語だってなかなか覚えられないものもあるし、こっちだっていっぱいいっぱいなんだから挨拶や親切だって忘れてしまうこともあるし、仕様がな。」尤もです。

だからこそ、何度でも挑戦してほしいと考えています。一度や二度の挑戦でうまくいくなるとは誰にもないことです。スポーツをやっている人は実感できると思いますが、毎日毎日反復練習を繰り返すことで失敗しながらも少しずつできるようになる。反復練習を怠ると途端にできなくなってしまう。すべてのことはこれと同じだと考えます。何度も失敗して、何度もトライして、反復を繰り返して身に付けていくものなのです。

一万回目指してみましよう。「トライする」はとても難しいですが、とても価値のあることなのです。

